

令和5年度 青梅市立若草小学校 学力向上推進プラン

「青梅市学力向上5カ年計画」

「継続 定着 追究」 ～勉強好き、青梅好きの育成～

【本校の児童の実態】

・令和4年度全国学力・学習状況調査結果(平均正答率)

	若草小	東京都	全国
国語	54.3	68.6	65.6
算数	55.6	66.8	63.2
理科	54.1	65.2	63.3

・令和4年度全国学力・学習状況調査結果(児童質問紙)

- 自分には、よいところがある。 76.4%
- 家で自分で計画を考えて勉強する。 59.7%
- 自分の考えを深めたり、広げたりできた。 82.0%

【本校の児童の課題】

- 課題解決のために、主体的に学びに向かう力の育成。
- 基礎的・基本的な知識・技能の定着の二極化。
- 自ら学ぶ意欲を高めるための家庭学習の習慣化。

「豊かな学びの場 わかくさ」の充実

学ぶ意欲を高め、力の付く授業を行うことで、主体的に学びに向かう児童を育成する。

- わ わくわく学ぶ (学びに向かう力)
- か 関わりの中で学ぶ (思考力・判断力・表現力)
- く エ夫して学ぶ (思考力・判断力・表現力)
- さ 最後まであきらめずに継続して学ぶ (知識・技能 学びに向かう力)

【授業改善の取組】

- 学ぶ意欲のわく授業
 - ・GT(ゲストティーチャー)による授業
 - ・ICT 機器の効果的な活用
- 一人一台端末を活用した多様な授業づくり
- 振り返りを基にした学習課題の設定

【個に応じた指導の充実】

- 算数科習熟度別指導(全学年)
- ステップアップクラスの実施(4年生以上で実施)
- 教科担任制の実施
- 「スタートカリキュラム」の充実

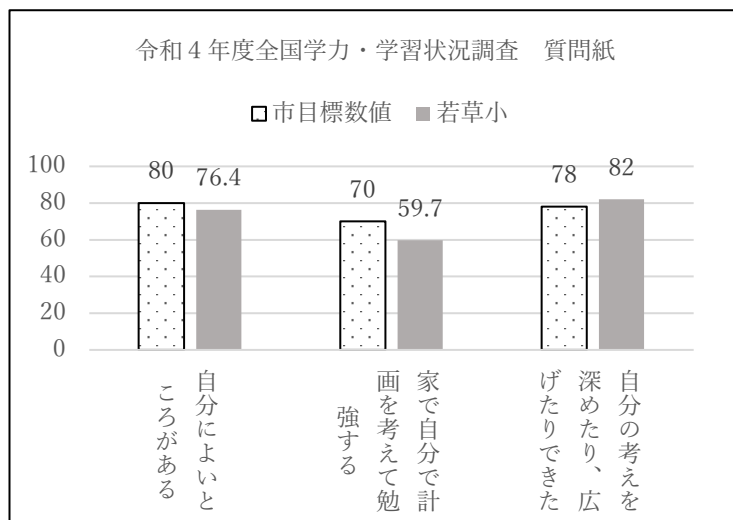
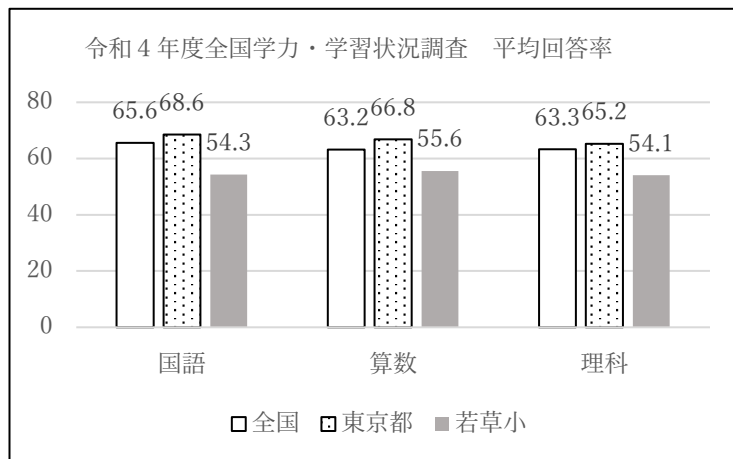
【家庭学習の推進】

- 家庭学習の目的を保護者に周知
- 中学校の定期考査に合わせた家庭学習強化週間の設定
- 児童の個々の学びに合わせた自主学習の励行

「学力向上推進目標」

- 児童のよい点や可能性を見付け、長所を伸ばす指導の工夫を行い、「自分にはよいところがある」と思う児童を80%以上にする。
- 家庭と連携を図ることで、家庭学習を計画的に行える児童を70%以上にする。
- 授業形態を工夫したり、一人一台端末を活用したりすることで、自分の考えを深めたり、広げたりできたと感じる児童を85%以上にする。

1 若草小学校の児童の姿



○実態と調査結果からの分析

- ・令和4年度全国学力・学習状況調査の平均回答率からでは、国語・算数・理科ともに、全国、東京都を下回っている。
- ・ここ数年の児童の実態から、年々学力が低くなる傾向にある。授業には落ち着いて取り組んでいるが、基本的な学力の定着に課題がある。
- ・令和4年度全国学力・学習状況調査の質問紙から青梅市教育委員会学力向上5カ年計画の成果目標に関する項目でみると、昨年度より改善がみられているが、家庭学習の項目については、家庭学習の重要性を児童に伝え、継続して指導する必要がある。
- ・令和4年度の6年生は、自己肯定感が高い児童が多くいたが、自分の意見をもって発信できる児童は少なかった。全校児童に対し自尊感情・自己肯定感チェックシートを活用し、自己肯定感の見える化を図り、継続して指導する必要がある。

2 育成すべき資質・能力を育むための具体的な取組

育成すべき資質・能力	取り組みの方向性	具体的な取組
学びに向かう力、人間性等 ・どのように社会、世界と関わり、よりよい人生を送るか	① 児童の自尊感情の高揚 ② 青梅のよさを生かした教育の推進 ③ 思いやり、規範意識の育成	① 自尊感情・自己肯定感チェックシートの活用及び分析 ② 青梅学の推進（校外学習の充実・御岳移動教室・系統化） ③ 道徳授業の充実（公開授業等）
知識及び技能 ・何を理解しているか、何ができるか	① 個に応じた指導の充実 ② 子供の学びの場の充実 ③ 家庭学習の定着および充実	① ステップアップクラスの活用 一人一台端末を活用した指導 ② 「豊かな学びの場 わかくさ」の充実 ③ 家庭学習強化週間の実施 自主学習の啓発
思考力、判断力、表現力等 ・理解していること、できることをどう使うか	① 授業改善の推進 ② 思考力、判断力、表現力を育成する機会の充実 ③ 子供の可能性を伸長する場の充実	① 学ぶ意欲のわく授業の充実 ゲストティーチャーの活用 ② アプリを活用した発表の場の設定 ③ 課題をもち、調べる学習活動の推進